

年間予定 平成30(2018)年度

詳細は、当館ウェブサイト、チラシ、市民しんぶんなどで順次お知らせします。

学校歴史博物館 検索

展示

催し ※参加申込が必要です。

明治150年記念

企画展 4月28日(土)~6月19日(火)

京都画壇の明治

企画展 6月23日(土)~10月1日(月)

京都の学校史をたどる

—2014~2017年度 新収蔵品展 小学校編—

特別展 10月6日(土)~12月11日(火)

明治150年・開館20周年記念 創造美術の画家(仮)

<同時開催>近代京都の画家(仮)

—国画創作協会と上村松園を中心に—

企画展 12月15日(土)~平成31年3月31日(日)

京都の学校史をたどる

—2014~2017年度 新収蔵品展 中等教育編—

子ども体験教室(小学生対象)

夏の子ども体験教室

- 明治の小学校 書写教室
- 博物館たんけんたい
- おもちゃの手作り教室
- にほん画に挑戦!

冬の親子体験教室

凧づくりに挑戦!

春の子ども体験教室

詳細は後日決定

企画展関連講演会

明治150年記念

連続講演会「京都画壇の明治」

A 5/20(日) 谷口香嶠と近代京都の「歴史画」
講師:藤本 真名美 氏(和歌山県立近代美術館 学芸員)

B 5/26(土) 「日出新聞」記者
金子静枝の奮闘の生涯
講師:竹居 明男 氏(同志社大学 名誉教授)

C 6/2(土) どんなひとがいたの?
明治の京都画壇—流派と個性—
講師:森 光彦(当館 学芸員)

D 6/10(日) いま、明治の日本画が熱い理由
講師:田島 達也 氏(京都市立芸術大学 教授)

E 6/17(日) 近代京都の日本画史入門—明治期を中心に—
講師:植田 彩芳子 氏(京都文化博物館 学芸員)

教室・講座(一般対象)

第3[火]午後2時-3時(8月を除く)
上村淳之館長談話室

[月]午後2時-4時
唱歌・童謡教室

[火]午前10時-12時30分
日本画教室(火曜・午前)

[火]午後2時-4時30分
日本画教室(火曜・午後)

[木]午後2時-4時
はじめてみよう!楽しい合唱教室 **NEW**

[金]午前10時-11時30分
古文書を読む(9月・11月・2月に開講)

[金]午後2時-4時30分
描いてみよう!日本画

2月頃開催予定
日本刺繍教室

以上の他に、各企画展にちなんだ講演会を随時開催いたします。
詳しくは当館ホームページ・チラシ等にてご確認ください。



京都市学校歴史博物館だより

学歴博しんぶん



Vol. 34

発行:平成30年3月
京都市学校歴史博物館



今年、歴博は開館20周年を迎えます これまでのあゆみを『20年の彩り』と題し、一冊にまとめました

京都市学校歴史博物館は、元番組小学校の一つである開智小学校の跡地を活用し、平成10年11月に開館して以来、町衆をはじめとする明治の先人たちの、「まちづくりは人づくりから」の信念と、学校の運営に係る費用の一部を町衆自身が負担する「産金(かまどきん)」の精神を伝え、のべ30万人を超える市民・観光客の皆様方の生涯学習や、子どもたちの学習活動の場として歩んできました。

このたび、開館20周年を迎えるにあたり、全国をリードする京都の教育の系譜を広く発信することを目的に、過去20年の学校歴史博物館のあゆみを振り返る冊子『20年の彩り』を発行しました。

本書を通じ、地域と学校がともに育ててきた人づくりの系譜を多くの方々にご覧いただき、また開館20周年、来年の番組小学校創設150周年に向けて機運を高めていきたいと考えています。

(事務局長:萩原 裕司)



京都市学校歴史博物館

〒600-8044

京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437

TEL:075-344-1305 FAX:075-344-1327

http://kyo-gakurehaku.jp/

✉ rekihaku-jigyoku@edu.city.kyoto.jp

当館は、京都の学校の歴史に関する資料の保存・研究・展示をすすめる博物館です。正門・石塀は、国登録有形文化財。



開館時間 午前9時 - 午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日 - 1月4日

入館料 一般200円(160円)、小・中・高生100円(80円)

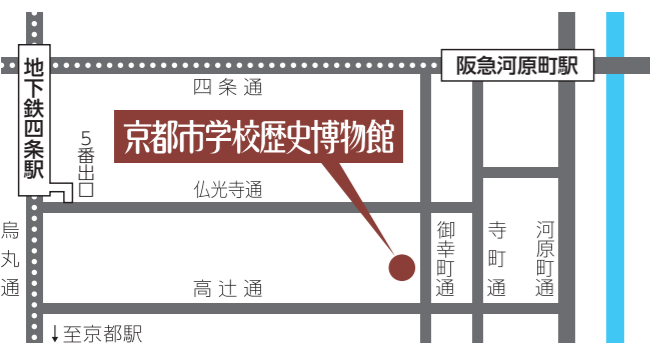
※()内は20名以上の団体料金

※京都市内の小・中学生は土・日曜日の入館無料

交通案内

- ◆ 阪急電車「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
- ◆ 地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
- ◆ 京阪電車「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
- ◆ 市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
- ◆ 市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



※正門(御幸町通側)からお入り下さい。

春の企画展

明治150年記念 京都画壇の明治

会期:平成30(2018)年4月28日(土)~6月19日(火)

前期 4月28日(土)~5月15日(火)

中期 5月17日(木)~6月5日(火)

後期 6月7日(木)~6月19日(火)

平成30(2018)年は明治元(1868)年から数えて150年という節目に当たります。学校歴史博物館ではこれを機に、明治期の京都画壇を振り返ります。

京都では、幕末の動乱で荒廃した町の復興を目指すことから、明治という時代が始まっていきました。日本画の世界においても、衰退の危機にあった画壇を復興させるため、新時代の画家たちは新しい絵画表現を模索します。

本展では、明治前中期における、代表的な画家の作品を展示し、近代京都画壇の源流を一堂に総覧します。

(学芸員:森 光彦)



幸野樸嶺 江月雙鴨図(部分)
明治20年代 敦賀市立博物館蔵



幸野樸嶺 敗荷簞書図
明治20年代 敦賀市立博物館蔵

夏の企画展

明治150年 京都の学校史をたどる

—2014~2017年度 新収蔵品展 小学校編—

6月23日(土)~10月1日(月)

学校に関する史料は、学校にあるものがすべてではありません。むしろ、個人が大切に保管してきた日記や写真の方が、学校のリアルな姿を映し出すことがあります。本展は、この「学校にはなかった学校関係史料」で、京都の小学校史を振り返ります。

前回の新収蔵品展「小学校の戦前・戦中・戦後—2011-2013年度新収蔵品展—」の開催から、すでに4年が経とうとしています。この間に新しく寄贈いただいた史料は、約4000点です。そのうち、展示できるのはごく一部ですが、とても見応えのある企画展になりそうです。

(学芸員:和崎 光太郎)



3年生の遠足(平等院) 昭和28(1953)年 京都市立朱雀第八小学校